

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

成果指標の令和3年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成度 (R3年度)
第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合(※1)	—	90.0%	50.0%	55.6%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	46.8%	93.6%
同第5章 スポーツを通して生きがい、満ち、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	50.0%	40.2%	80.4%
同第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	38.2%	47.8%

※1:実績値(R3年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2～4:実績値(R3年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、532人が回答)。

令和3年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業	65
4	2	学校ESD支援事業	66

令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ 高校生まちづくり体験事業（70ページ参照）
-----	---

目的						
高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。						
事業内容						
高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生等が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。						
具体的な事業として、次の2事業を実施します。						
○ふるさと魅力発見ウォーク						
小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。						
○総合発表会						
高校生等が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校等への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値（校）	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値（校）	6	4			
	達成度（%）	120	66.7			

取組実績						
○高校生まちづくり体験事業推進協議会						
本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。						
○ふるさと魅力発見ウォーク						
コロナ禍の中でしたが、想定していた1泊2日を日帰りに縮小し、「青春（アオハル）Walk」と称して事業を実施しました。ポスターやチラシ等の活用により市内の高校等全校へ事業の周知を図り、事業を企画・運営するスタッフを募集し、10人（市内の高校等に通う生徒4校10人）の参加がありました。						
7月から企画会議を実施し、参加した高校生等は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでくれました。企画途中での緊急事態宣言発令により、全体での企画会議の中止や事業を縮小する状況となりましたが、高校生スタッフ等と実施可能なコースやレクリエーションを再協議し、R3年12月12日（日）に高校生等10人と、小・中学生の参加者9人（11人申込みあり当日2人欠席）で実施することができました。						
○総合発表会（新型コロナ感染拡大防止のため未実施）						
		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	604 千円 千円)	302				302
問題点及び課題						
高校生等個人の参加は募ることができましたが、コロナ禍の中、学校としての参画が難しい状況が続いています。また、高校生等と地域の方々との交流の機会等の提供も困難な状況となっています。このような状況において、高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高めることができるような事業の組み立てが必要となっています。						
今後の方向性（具体策）						
高校等の参画を募るために、各高校等へ本事業の実施により高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高め、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目指していることの重要性について説明の強化を図ります。						
企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。						
高校生等が参加意義を見つめることができるよう事業の組み立てを支援します。						
評価						
事業に参加した高校生等10人全員から「参加してよかった」とのアンケート回答がっており、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。						

令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり 学校ESD支援事業(76ページ参照)
-----	---

目的
地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。

事業内容
学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7	7			
	達成度(%)	175.0	116.7			

取組実績
○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】
○地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】
○地域の史跡や文化財等を知り発表することにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校ESD支援モデル校区)、駛馬小学校(新型コロナウイルスの影響により中止)】
○学校職員に公民館や地域のことを紹介し、ESDや総合学習のヒントとなることを目指した研修会を実施しました。【羽山台小学校】
○小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駛馬小学校、天領小学校、羽山台小学校】
○このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表を実施したほか、みなと小学校児童が作成した「防災マニュアル」を三川地区公民館において配布しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	17 千円 千円)				17

問題点及び課題
地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。 小学校での実施が中心となっており、中学校への取組みが必要です。

今後の方向性(具体策)
学校のニーズを把握するため、学校が取り組むESDについて理解を深めることが必要です。また、学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校ESDの支援に取り組みます。 学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。

評 価
目標を上回る7校(小学校6校、中学校1校)で事業に取り組むことができ、学校と地域をつなぐ役割ができました。また、前年度からの継続した事業のほか、モデル事業(羽山台小学校)の実施など新たな事業にも取り組むことができました。今後も学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
	次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切に人をはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。

（視点1）次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を17講座開催しました（2事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 1回
- ・活動 4回

②延べ参加者（人）

- ・子ども 96人
- ・ボランティア 98人
- ・保護者（懇談会）12人

（3）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。

職 業	講 師	と き	と ころ	受講者数
保育士	井上 由加里	8月3日（火）	えるる	8人
海上保安官	山下 純平 石内 奈々恵	9月26日（日）実施予定で参加者も18人決定していましたが、新型コロナウイルス感染症福岡コロナ特別警報及び緊急事態宣言発令のため中止しました。		
モデル	境 慶史	R4年2月20日（日）	えるる	8人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

イ 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行うものです。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

ウ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

エ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（R3年度は実績なし）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等16団体（定期開設16団体、長期休業期間中開設0団体）に対して運営費の一部を補助しました。

※R3年度8月から、みなと子どもの広場実行委員会に補助金交付。

※定期開設のうち1団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業未実施となったことから、補助金は全額返還。

・市補助金交付団体【定期開設】 16団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月1回	17年目
2	友・遊広場見守り隊	月2回	17年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月1回	17年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月1回	17年目
5	平原小学校父母教師会	月1回	15年目

6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月 1 回	15 年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月 1 回	15 年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月 1 回	12 年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	11 年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	11 年目
11	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 4 回	10 年目
12	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	9 年目
13	ひまわり広場実行委員会	月 4 回	7 年目
14	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	4 年目
15	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	2 年目
16	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	1 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 ※R 3 年度なし

・自主運営等の団体数 5 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駿馬地区アンビシャス広場	週 1 回
2	勝立地区アンビシャス広場	月 1 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぼけっと	月 4 回
5	上官げんきもりもりハウス	月 4 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 2 回
2	上内なかよし広場	年 2 回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第 1 ～ 3 号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（4 月 1 0 日（土））

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（7 月、1 2 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 7 0 人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と き 1 2 月 1 3 日（月）

ところ 三池地区公民館 研修室 B

参加者 2 9 人

テーマ 新規居場所の紹介

講 師 みなと子どもの広場（R3. 8 開始） 城野 國子

上官げんきもりもりハウス（R3. 10 開始） 小泉 悦子・田中 千代子

テーマ 駿馬地区アンビシャス広場 2 0 周年記念事業

講 師 駿馬校区アンビシャス広場 北川 正一

（ウ）体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

と き R 4 年 3 月 6 日（日）

※12月、2月に開催に向けての会議を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

●高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）〔生涯学習課〕（65ページを参照）

（1）ふるさと魅力発見ウォーク

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等

募集期間 6月24日から7月16日まで

応募者数 10人（明光学園高等学校6人、大牟田北高等学校2人、三池高等学校1人、有明工業高等専門学校1人）

②企画会議等開催

第1回 7月24日（土）

8月28日（土）

※新型コロナウイルス感染症福岡コロナ特別警報及び緊急事態宣言発令（9月30日まで）のため中止

第2回 10月16日（土）

第3回 11月6日（土）

第4回 11月20日（土）

第5回 12月4日（土）

第6回 12月18日（土）

第7回 R4年1月11日（火）※報告書作成

第8回 R4年2月1日（火）※報告書作成

③事業実施

青春（アオハル）Walk実施

実施日 12月12日（日）

参加者 高校生10人、小学生9人、推進協議会会員1人

コース 三池地区公民館～熊野神社～えるる～八剣神社～石炭産業科学館～大牟田市動物園

④小学生参加者募集

応募方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等

応募期間 11月12日から11月30日まで

応募者数 11人（みなと小1人、天領小2人、白川小1人、平原小1人、三池小2人、吉野小1、倉永小1人、歴木中1人、明光学園中学校1人）

※当日参加は9人

（2）総合発表会（R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし）

（3）高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催

第1回 R4年3月23日（水）

○子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R3年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

（1）ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本をとおして、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組みとして、新生児に、絵本や布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、

R 3 年度は 6 4 1 人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況

と き	参加者
10 月 29 日（金）	4 組（ 8 人）
11 月 6 日（土）	5 組（12 人）
11 月 27 日（土）	3 組（ 7 人）
12 月 4 日（土）	6 組（14 人）

（会場は市立図書館）

（２）子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント 2021（指定管理者）

4 月 23 日の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

（内容等の詳細は、169 ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「（1）必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事业」の表を参照）

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。（携帯電話用のページも毎月更新）。

④うちどくノート・うちどくリストの作成

家庭での読書活動（うちどく）を支援として、現在、市立図書館で配布している「うちどくノート」と「うちどくリスト」の活用促進を図るため、デザインや内容の見直し、大牟田市子ども読書推進委員会ワーキング部会で協議しました。

R 4 年度から配布を開始し、学校等での活用の提案を含め、広く周知していきます。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

（１）親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行う予定でしたが、新型コロナの影響により中止しました。

期日	内容	場所	参加者数
9 月 26 日（日）	子どもの体力測定、保護者セミナー	大正小学校	—
10 月 31 日（日）	親子で運動遊び	大正小学校	—
11 月 14 日（日）	親子で運動遊び	大正小学校	—
12 月 12 日（日）	親子で運動遊び	大正小学校	—
12 月 19 日（日）	子どもの体力測定	大正小学校	—

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月11日(土)	体力テスト	市民体育館	21	267
R4年2月13日(日)	交流ドッジボール大会(中止)	市民体育館	—	—

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	R元年度	R2年度	R3年度
スポーツ少年団数	39	37	35
加入者数	624	543	611

○おおむたっ子ががんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子ががんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R元年度	R2年度	R3年度
スポーツ	全国大会等出場者数	147人	53人	93人
	交付額	461千円	159千円	279千円
文化芸術	全国大会出場者数	25人、3団体	3人、1団体	15人、2団体
	交付額	345千円	159千円	255千円

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として、33講座を開催しました。

(19講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
8月1日(日)	仲間づくり・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲーム作り・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲームの体験	リフレスおおむた	9人
10月31日(日)	仲間づくり・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲーム作り・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲームの体験	リフレスおおむた	6人
R4年 1月30日(日)	※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため中止	えるる	—

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月20日（月・祝）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（イ）新年カルタ大会

と き R4年1月10日（月・祝）

ところ 駛馬地区公民館

参加者 3子ども会 8チーム 26人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月11日（日）

ところ 労働福祉会館

参加者 18団体21人

内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、32団体が加入しました。

② PTA活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）PTA広報紙コンクールの実施

第36回PTA広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会の共催により実施しました。作品は、R2年度発行の新聞を対象としました。

応募校数23校（小学校15校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

大牟田市教育委員会賞：大正小学校父母教師会、松原中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会賞：

明治小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会連合会

優秀賞：天領小学校父母教師会、中友小学校父母教師会、

みなと小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

（イ）PTA広報紙研修会の開催

と き 5月18日（火）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため紙面研修に変更しました。

（ウ）PTA連合会の研修会の委託

11月13日（土）大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会研修会を実施しました。

R4年3月15日（火）～3月25日（金）

大牟田地区私立幼稚園PTA研修会をZOOM配信にて開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（1）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を4講座開催しました（2講座は新型コロナウイルス感染症等の影響により回数を減らして実施。）

（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

R3年度は、ボランティア養成講座の実施等、公民館事業としての子育てふれあい広場の準備期間のための休止、および新型コロナウイルス感染拡大防止のための開設中止など、大幅に回数を減らしての実施となりました。

① 三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	68人
子ども延べ利用者数	65人
延べ利用者数	133人
開設日数	12日

② 手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	111人
子ども延べ利用者数	130人
延べ利用者数	241人
開設日数	16日

③ ボランティア養成講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営が難しい現状のなか、令和3年度から公民館事業として取り組むため、三池地区公民館、手鎌地区公民館においてボランティア養成講座を実施しました。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回（7月・11月・3月）発行し、発行数は延べ34,500部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

① 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。令和3年度より公民館事業として実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、入学説明会が中止・時間短縮の実施等となったため、19校区中1校区のみの実施となりました。18校区については、資料を配布しています。

1講座（1小学校区）参加者数23人（入学予定者数の92.0%）

② 幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」を実施しました。

と き	8月7日（土）
と ころ	えるる
参加者数	17人

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、中友剣道スポーツ少年団による「中友剣道スポーツ少年団創立60周年記念大会」をR3年度に延期後、開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、R4年度に再延期しました。

文化芸術分野は、こども花だんプロジェクトによる「キッズ花フェスタ」と、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」をR3年度に延期後、開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度に再延期しました。

大牟田青少年音楽育成事業実行委員会による「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」はR3年度に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度に延期しました。

一般社団法人 OMUTA BRIDGE による「おおむた子どもまちづくり会社(仮)」は下記のとおり開催しました。

と き	5月～R4年3月
対 象	橘中学校2年生
概 要	①事業に関わる関係者の視点から語られる、それぞれの事業に対する歴史や想い、視点到触れるセミナー ②大牟田の農産物、特産品を通し、大牟田の食文化を学び、商品の企画書を作成 ③販売実践 ④決算発表会（実践報告会）

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の107・108ページを参照）

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の109ページを参照）

【視点２）ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったＥＳＤの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣回数は減少しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
Ｒ元	個人	94	94	237	7,829	68.5
	団体	119	1,475	639	49,505	
	計	213	1,569	876	57,334	
Ｒ２	個人	93	93	109	2,341	33.6
	団体	118	1,473	244	5,993	
	計	211	1,566	353	8,334	
Ｒ３	個人	91	91	125	2,640	36.2
	団体	116	1,464	191	4,370	
	計	207	1,555	316	7,010	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・９９．５％

（Ｒ２年度９９．４％）

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）・・・１００％

（Ｒ２年度１００％）

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類送付による説明に振り替えました。

ア 依頼者（利用者）向け

送付内容 おおむた生涯学習メニューブック（利用案内含む）

イ ボランティア登録者向け

送付内容 事業概要、ボランティア活動保険について

④新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、以下の取組を行いました。

ア 地区公民館で実施するアクティブシニアデビュー塾における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけ

イ 校区まちづくり交付金における『地域人材発掘メニュー』の設定

⑤周知・P R

- ア ボランティア登録者の募集（「広報おおむた」 2月1日号掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,500部）の配布
- ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

○地域E S D推進事業〔生涯学習課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行いニーズをとらえて進める事業を10講座実施しました（7事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

●学校E S D支援事業〔生涯学習課・公民館〕（66ページを参照）

○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。
学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、7事業を実施しました（1事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔福祉課・生涯学習課・公民館〕
高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体の花健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために福祉課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」6講座を開催し、64人が受講しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため1講座中止）
（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- （2）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕
諏訪川を活用した環境問題の啓発、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合いや世代間交流の促進を図る目的で実施しているカヌーふれあい事業の趣旨に賛同し、カヌーを使用した地域活動やカヌー貸出においても支援・協力してもらえるサポーターを養成する講座を実施していますが、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。
- （3）ボランティア団体支援事業〔公民館〕
7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。
（各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- （4）地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕
各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図るこ

とを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

【視点３）学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (１) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年６回発行　２,０００部／回）

掲載事案件数８５件、メールマガジン登録件数１６７件

- (２) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子２,５００部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を１冊にまとめて発行しました。

- (３) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全３回）

- (４) その他（年間随時）

ア 市ホームページ、ＳＮＳ、「愛情ねっと」、「ＦＭたんと」、YouTube を活用した動画配信等による情報発信

イ 学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

- (１) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。Ｒ３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数は減少しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
Ｒ元	113	158回	311人	5,242人
Ｒ2	118	51回	95人	1,698人
Ｒ3	123	65回	117人	2,175人

- (２) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点２）「ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（７６・７７ページを参照）

- (３) 市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
物語が書かれた時代の視点で読むということ	有明工業高等専門学校 一般教育科 講師 藤崎 祐二	11月10日（水）	えるる	20人

社会医学への誘い～社会の在り ようと健康との関係を探求しま す～	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 准教授 須釜 幸男	11月17日(水)	えるる	17人
がんの診断や治療で活躍する放 射線のお話	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 教授 前畑 京介	11月25日(木)	えるる	23人
xRのしくみとVR体験～コロナ禍 で加速している xR 技術～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 塚本 公秀	12月8日(水)	えるる	24人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R 元	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ	31	33回	827人
R2	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ、⑮㈱O.A.S、 ⑯九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑰㈱にしけい有明支社、⑱大牟田柳川信用金庫、 ⑲中国茶・台湾茶専門店華貴、⑳和装処・坪井、 ㉑豊浜製麺	40	13回	306人
R3	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟 田配電事業所、⑯㈱にしけい有明支社、⑰大牟田柳 川信用金庫、⑱つきあかり、⑲和装処・坪井、 ⑳(有)美川漢方堂、㉑(有)山田茶舗、㉒㈱大幸商事、 ㉓㈱エム・ティ・ネット、㉔磯浜葬祭 天翔苑、 ㉕アトリエ 花むすび、㉖しゅがーりいすパーす	46	10回	313人

○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。（大雨などのため2回中止）

(2) 社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

(3) 新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

(4) 新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館のうち6館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(67～70ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(73ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(74ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(72ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業(地域活動デビュー編・健康実践デビュー編)
〔生涯学習課・公民館・福祉課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域活動デビュー編」を7講座開催し、84人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、84人が受講しました。

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は29,548冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（2）子育てふれあい広場の開設（74ページ）を参照

（9）地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めていますが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期・中止となりました。

（7地区公民館の文化祭の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（10）展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

（展示コーナー活用事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（視点４）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R元	482回	2,431人
R2	390回	2,030人
R3	281回	1,238人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

②青色パトカー巡回活動概況(昼間のみ) (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R元	453回	839人
R2	420回	836人
R3	238回	465人

※R3年度は、少年センター専任指導員のみの実施

③指導概況(性別、学職別) (単位：人)

年度 \ 区分	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R元	196	157	353	51	65	235	2	0	0	0	353
R2	165	95	260	67	40	153	0	0	0	0	260
R3	50	30	80	0	24	50	0	0	0	6	80

④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R元	1	128	78	5	99	0	0	0	0	42	353
	0.3	36.3	22.1	1.4	28.0	0	0	0	0	11.9	100
R2	0	93	50	8	53	0	0	0	0	56	260
	0	35.8	19.2	3.1	20.4	0	0	0	0	21.5	100
R3	8	23	37	0	10	0	0	0	0	2	80
	10	28.8	46.2	0	12.5	0	0	0	0	2.5	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		タ ー ゲ ー ム セ ン	等 カ ラ オ ケ 店	大 型 店 等	コ ン ス ト ア	駅	路 上	自 宅 等	寺 院 ・ 神 社	公 園	海 岸 ・ 河 川	そ の 他	合 計	
R 元	男子	0	0	16	0	0	131	0	5	21	6	17	196	353
	女子	2	0	43	0	0	101	0	0	9	2	0	157	
R2	男子	13	1	3	0	4	72	0	1	26	17	28	165	260
	女子	5	5	35	0	0	35	0	3	2	5	5	95	
R3	男子	0	0	16	0	0	9	0	0	25	0	0	50	80
	女子	0	0	21	0	0	1	0	0	8	0	0	30	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R 4 年 1 月から福岡県教育委員会が 24 時間 365 日実施する「子どもホットライン 24」に一本化し、周知啓発を図ることとしました。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	R 元	2	0	0	2 (2)
	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	1	0	0	1 (1)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	R 元	3	3	40	46 (5)
	R2	2	4	56	62 (5)
	R3	0	4	43	47 (6)
メール相談	R 元	0	2	0	2 (1)
	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	0	1	0	1 (1)

※ () 内は実際に相談された人数

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R 元	0	0	1 (1)	2 (1)	0	0	0	4 (4)	43 (2)	50 (8)
R2	0	1 (1)	0	4 (2)	0	0	0	1 (1)	56 (1)	62 (5)
R3	1 (1)	0	2 (2)	0	2 (2)	0	0	0	44 (3)	49 (8)

※ () 内は実際に相談された人数

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

ア 第71回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前からゆめタウン大牟田まで行進し、チラシを市民に配るなどの街頭啓発活動を行う街頭キャンペーンを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、首相・知事メッセージ伝達のみ実施しました。

と き 6月30日(水)

ところ 市長応接室

イ 第69回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

と き 6月30日(水)

ところ 文化会館 小ホール

ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月1日(月)

ところ 大牟田駅東口

参加者 大牟田警察署、久留米少年サポートセンター、大牟田児童相談所、甘木山学園、大牟田市(子ども家庭課、少年センター)

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語109点を展示しました。

と き 11月11日(木)～18日(木)

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

第1回 と き 7月14日(水) 15時～16時30分

ところ 大牟田市生涯学習センター 多目的室

委員の委嘱

議題 1 社会教育委員の会議について

令和2年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和3年度事業計画(案)について(報告)

2 福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

3 大牟田市社会教育振興プラン2020～2023に掲げる基本施策と事業の達成状況(報告)

令和3年度社会教育・生涯学習事業計画について(協議)

4 地区公民館の在り方の検討について(協議)

その他 ○ 地区公民館の現状と今後の工事等について

○ 地区公民館等における新型コロナ感染対策について

○ 感染防止対策を目的とした社会教育施設の施設整備について

○ 社会教育主事研修の現地研修について

○ 勝立地区公民館を中心とした勝立地区のまちおこしプロジェクト(案)～ひろげよう!つなげよう!ESD/SDGsの輪～について

第2回 と き 11月24日(水) 15時～16時45分

ところ 大牟田市生涯学習支援センター多目的室

議題 1 市長、教育長への地区公民館のあり方の提言書の手交について(報告)

2 (仮称)総合体育館建設の進捗状況について(報告)

3 地区公民館等のWi-Fi設置の進捗について(報告)

ワークショップ

1 社会教育におけるESD/SDGsの推進のためには

その他 ○ 第74回成人式について

○ 第36回人権フェスティバルについて

○ 令和3年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

○ 令和3年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修受け入れについて

○ 翼の会おおむた～大牟田ガールスカウト活動のご案内～について

○ 令和3年度地域ESD支援事業 ～地域の魅力を次世代につなぐ～勝立よかもん物語ふるさと歴史講座について

第3回 【書面開催】

R4年1月26日(水) 資料配付(郵送)

R4年2月4日(金) 意見・回答を集約

議題 1 令和3年度社会教育事業等の進捗状況について

2 社会教育委員の会議に係るご意見等について

3 インターネットによる施設の予約システム導入について

社会教育委員の会議分科会

第1回 と き 7月2日（金）13時30分～15時

ところ 中央地区公民館2階研修室A

議 題 1 地区公民館の在り方の検討について提言書（案）

（2）地区公民館のあり方の提言書の手交

と き 11月8日（月）15時30分～

ところ 大牟田市役所3階市長応接室

内 容 「地区公民館の在り方について」の提言書の手交

（3）委員研修

①令和3年度筑後地区市町村社会教育委員研修会

Zoomによるオンライン研修（北筑後教育事務所よりライブ配信）

テーマ 「ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会教育・生涯学習のあり方
～今、社会教育委員が果たすべき役割～」

人権・同和研修

演 題 「人権が尊重される地域の実現を目指す」

説 明 北筑後教育事務所社会教室 高木 真由美

基調講演 「ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会教育・生涯学習のあり方
～今、社会教育委員が果たすべき役割～」

講 師 古市 勝也

実践発表 演 題 「朝倉市宿泊体験事業 ～トライキャンプの取組とその考察～」

説 明 朝倉市社会教育委員 梶原 明彦

○成人式の開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第74回成人式の開催

と き R4年1月9日（日）15時～16時

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー 上映

・大牟田市パラリンピック聖火 Waku Waku の火

・高校生によるシティプロモーション動画

（H29年度高校生総合文化祭「大牟田100祭」より）

・おおむた「大蛇山」まつり

アトラクション（司会：公募による新成人女性2人）

・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏・マーチング

・大牟田北高等学校書道部による書道パフォーマンス

式典（司会：公募による新成人男女各1人）

・国歌独唱（公募による新成人男性1人）

・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）

・誓いの言葉（公募による新成人男女各1人）

・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
R元年度	493	476	969	614	63.4
R2年度	465	488	953	553	58.0
R3年度	480	421	901	484	53.7

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値 (%)	77.8	50.0			
	達成度 (%)	86.4	55.6			
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 [現状値:47.5%(H30 年度実績)]
	実績値 (%)	46.2	46.8			
	達成度 (%)	92.4	93.6			

【指標達成度に対する要因分析】

- ・高校生まちづくり体験事業や学校 ESD 支援事業などを実施したことにより、小学校・中学校との関係が構築されたとともに、高校や高校生との繋がりが図られ、大牟田への関心を高める機会となりました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、青少年の体験活動等の各事業の実施数が計画していた数まで伸びなかったことや、組織・団体等での活動の縮小などにより、目標値より低くなっています。
- ・市民の幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域 ESD 推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成が図られました。

【今後の方向性】

- ・次世代の育成を推進するためには、これまでの地域や各団体における小学生を対象とした事業だけでは効果が限られることから、中学校や高校を巻き込んだ新たな事業展開を図り、地域や学校を含め、小・中・高校生、そして地域のボランティアを担う大人が一体となった事業に取り組みます。
- ・そのためには、家庭や学校、地域の理解と多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民が各事業の取り組みや主旨を理解した上で協力していただけるよう、事業の内容や必要性について引き続き周知・啓発を図ります。加えて、組織や団体が継続し活動ができるよう、新たな組織のあり方を検討し、子どもたちが心身ともに健康でたくましく思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の組立や運営を行います。また、出前講座の充実や生涯学習ボランティア派遣などを通して、市民への幅広い学習機会の提供を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、毎年、春・秋・新春の年3期に実施しています（春のスポーツ教室は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	中止
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	中止
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	中止
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	中止
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	中止
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	32
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	4
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	2(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	10
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	31
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	中止
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	28
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	13
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	28
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	27

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、毎年夏休み期間中にスポーツ教室を実施しています。（1人1種目）。

教 室 名	会 場	指 導 者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	64
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	60
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	36
卓球	〃 〃	卓球協会	36
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	27
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	36
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	34

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4 月 18 日(日)	諏訪公園イベント広場	78
市民ソフトバレーボール大会	6 月 13 日(日)	市民体育館	中止
市民女子フットベースボール大会	9 月 12 日(日)	緑地運動公園運動広場	中止
市民健康マラソン大会	R4 年 1 月 16 日(日) → 3 月 20 日(日)	御大典記念グラウンド	1,633
市民観梅ハイキング	R4 年 2 月 27 日(日)	観光プラザ前～紹運寺	中止

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しています。R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催しました。

と き 10月9日(土)・10日(日)・17日(日)

ところ 第二市民体育館、御大典記念グラウンド、諏訪公園イベント広場

主 管 スポーツ2021市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月9日(土)	ソフトバレーボール大会	64
10月10日(日)	ア 開会式	約2,000
	イ 少年団対抗リレー、小・中学生リレー	458
	ウ なわとび競争	487
	エ バザー・イベント	多数
10月17日(日)	グラウンドゴルフ大会	61

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動(運動)を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に、市民団体、行政等で実行委員会を組織して実施しています。R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月に実施しました。

年 度	R 元年度	R2 年度（中止）	R3 年度
期 日	5 月 29 日（水）	5 月 27 日（水）	10 月 27 日（水）
参加者数	80,478 人	-	76,762 人
参 加 率	69.8%	-	68.6%
対戦相手自治体	神奈川県座間市 53.4%	（秋田県大仙市） -	長崎県大村市 56.1%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催していますが、R 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スロージョギング教室のみ開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング・体力測定

期日	集合場所	コース	参加者(人)
R4 年 2 月 27 日(日)	玉川小学校	（当初の予定）玉川小学校～焼石山～萩の尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校	中止

②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11 月 7 日(日)	駛馬小学校体育館及び運動場	①スロージョギングの講義及び実技	14
12 月 5 日(日)	駛馬小学校運動場	②スロージョギングの実技	10

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R4 年 3 月 9 日(水)	第二市民体育館	（当初の予定）スカットボール、カローリング、ボッチャ	中止

（２）スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では 54 人（R 2 ～ 3 年度定数：57 人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、例年、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施していますが、R 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

期日	研修名称	開催地
6 月 12 日(土)	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会（中止）	（筑後市）
11 月 27 日(土)	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会（中止）	（みやま市）
R4 年 2 月 11 日(金・祝)、 12 日（土）	福岡県スポーツ推進委員研修大会（中止）	（北九州市）

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
35	延べ 3,988	50	31	42	3

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕（再掲）

（第1編第4章・視点1の71ページを参照）

（視点２）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：１団体（Ｈ１７年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期 日	内 容	場 所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	宅峰中学校、天領小学校	延べ 400
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図る目的で開催しています。Ｒ３年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により６大会が中止となり、１４大会を開催しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
太極拳合同発表会	未定	まいピア高田	中止
市民軟式野球大会	５月９日（日）～１０月１０日（日）	延命球場	200
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	６月６日（日）	有明カントリークラブ	118
市長杯ソフトボール大会	７月４日（日）～１０月１０日（日）	緑地運動公園他	500
大牟田市長杯ソフトテニス大会	９月１９日（日）	緑地運動公園他	中止
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	１０月１２日（火）	緑地運動公園	49
おおむたクレイ射撃大会	１０月１７日（日）	玉名クレイ射撃場	18
大牟田市剣道選手権大会	１０月１８日（月）	市民体育館	中止
大牟田市 OPEN テニストーナメント大会	１０月２４日（日）～１１月３日（水・祝）	緑地運動公園他	71
大牟田市サッカー選手権大会	１０月２４日（日）	宮原中学校	112

おおむた弓道選手権大会	10月24日（日）	宅峰中弓道場	110
大牟田市9人制バレーボール選手権大会	11月14日（日）	市民体育館	80
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月21日（日）	大牟田Jボウル	44
大牟田駅伝競走大会	R4年1月9日（日）	諏訪公園	500
大牟田市民バドミントン大会	R4年1月23日（日）	市民体育館	中止
四地区対抗柔道大会	R4年3月7日（月）	大牟田高等学校	中止
バスケットボール総合選手権大会	R4年3月20日（日）、21日（月・祝）	市民体育館	300
大牟田市ゲートボール選手権大会	R4年3月23日（水）	緑地運動公園	40
大牟田市民卓球大会	R4年3月27日（日）	市民体育館	110
おおむた市長杯アーチェリー大会	R4年3月29日（火）	サンアビリティーズ おおむた	中止

（２）中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額（円）
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	12	261,620
地区・県大会出場負担金	702	769,630
地区・県新人大会出場負担金	259	236,820

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

①トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第74回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月11日（日）

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加 男子43郡市 女子25郡市 参加者886人

種 目 [男子の部]100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、
三段跳、棒高跳

[女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投

[男女混合の部]4×400mリレー

[オープン] [中学生男子] 100m

[中学生女子] 100m

[中学生男女混合] 4×100mリレー

[男子] 3,000m（中学生以上）、3,000m障害（高校生以上）

[女子] 1,500m（中学生以上）、3,000m障害（高校生以上）

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	大分市	福岡市	久留米市	大牟田市	佐賀市
男 子	大分市	福岡市	佐賀市	大牟田市	小郡市
女 子	大分市	福岡市	久留米市	合志市	玉名市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(月・祝)	市民体育館他	中止
有明杯アーチェリー大会	5月23日(日)	第二グラウンド	中止
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月7日(土)、8日(日・祝) →R4年3月5日(土)、6日(日)	諏訪公園他	中止
大蛇山卓球大会	8月29日(日)→12月12日(日)	市民体育館	380
①全九州壮年九州ソフトボール大会福岡県体 会(※) ②福岡県高等学校新人ソフトボール大会福岡 県大会(※)	①8月29日(日)、9月5日(日) ②10月2日(土)、3日(日)、 9日(土)、10日(日)	緑地運動公園他	①中止 ②800
大牟田近県交流大会	9月25日(土)	緑地運動公園	中止
有明少年野球大会	10月10(日)、16日(土)、17日(日)、 23日(土)、24日(日)	延命球場他	1,200
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11月21日(日)	緑地運動公園他	136
大牟田秋季記録会(陸上)	11月3日(水・祝)	御大典記念グラウンド	1,886
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12月18日(土)	市民体育館	72
優勝弓争奪近県弓道大会	R4年3月20日(日)	市民体育館	中止

(※)①の大会の中止に伴い、②の大会を代替にしたもの

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 1件 後援 16件

(2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、例年、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しています。

R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての大会が中止となりました。

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業〔スポーツ推進室〕

(1) 聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーは、R3年5月11日に大牟田市役所から諏訪公園までのコースで行う予定でしたが、福岡県が緊急事態措置の区域に追加されたため、福岡県内の公道での聖火リレーはすべて中止となりました。公道での実施に代えて、福岡市と北九州市において、無観客にて点火セレモニーが行われました。

(2) ホストタウン事業

①アフガニスタン・イスラム共和国

東京2020オリンピック競技大会に出場する陸上競技選手団4名（選手・コーチ各2名）の事前キャンプの受け入れを行いました。新型コロナの影響により、国の受入れマニュアルに基づき感染対策を徹底した上で行いました。事前キャンプ中は、駐日アフガニスタン特命全権大使、行使、医療 NGO ペシワール会が本市を訪れ、選手団の激励と市長表敬を行いました。

東京2020パラリンピック競技大会に出場する陸上競技並びにテコンドーの選手団も事前合宿を受け入れる予定でしたが、アフガニスタン国内情勢の緊迫化に伴い、本市での受け入れは中止となりました。

交流事業に関しては、事後交流を軸に計画していましたが、上記の通り国内情勢の悪化に伴い、実現には至りませんでした。

期日	場所	内容	備考
7月7日（水） ～7月22日（木・祝）	御大典記念グラウンド、ホテルニューガイアオームタガーデン	東京2020オリンピック競技大会における事前キャンプ受入れ シャーマハムウド選手（陸上男子）、キミア選手（陸上女子）、シャパールコーチ、バシラコーチ 以上4名	陸上競技
7月7日（水） ～7月30日（金）	ホームページ、SNS	アフガニスタン代表選手の事前キャンプ情報、試合結果速報の掲載（市公式ホームページ、face book、Twitter）	陸上競技
7月8日（木）	ホテルニューガイアオームタガーデン、大牟田市役所	本市訪問 シャイダ・モハマド・アブダリ駐日アフガニスタン特命全権大使、ナジブラー・サフィ行使、医療 NGO ペシワール会村上優会長他6名	アフガニスタン選手団の激励、市長表敬
【中止】 8月17日（火） ～8月21日（土）	大牟田市内	東京2020パラリンピック競技大会における事前キャンプ受入れ	陸上競技、テコンドー

②ジョージア

柔道選手団の事前キャンプは中止となりましたが、交流事業に関しては、「オリパラ基本方針推進調査（新型コロナウイルス流行下におけるホストタウンの交流や情報発信の在り方等）」に参画し、他の競技でジョージアをホストタウンとしている2自治体（石川県志賀町（オリ：レスリング）、徳島県（パラ：フェンシング））と連携した各事業を展開しました。

11月1日（月）にティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使が本市を訪れ、市長表敬とともに、天領小学校を訪問し、交流を行いました。

また、12月3日～5日に国立代々木競技場にて「柔道グランドスラム東京2021」が開催予定でしたが、大会は中止となり、応援事業、選手との交流事業等も実施できませんでした。

期日	場所等	内容	備考
5月～	オンライン等	オリパラ基本方針推進調査に基づく食・文化・教育の交流に係る協議	石川県志賀町、徳島県との連携
6月2日（水）	天領小学校	ジョージア応援動画撮影	
6月21日（月）、 7月5日（月）	天領小学校	ジョージア国歌オンライン指導	

【中止】 7月6日（火） ～7月18日（日）	大牟田市内	事前キャンプ受入れ（東京 2020 オリンピック競技大会）	柔道
7月24日（土） ～7月30日（金）	ホームページ、 SNS	ジョージア柔道代表選手の試合結果速報の掲載（市公式ホームページ、facebook、Twitter）	
7月27日（火）	大牟田高等学校	ジョージアと日本3都市を繋ぐ芸術ワークショップ	石川県志賀町、徳島県との連携。
8月6日（金）	三池炭鉱宮原坑	ジョージアと日本3都市を繋ぐオンライントリップ	石川県志賀町、徳島県との連携
10月13日（水） ～11月5日（金）	生涯学習支援センター	ジョージア横連携事業写真パネル展	石川県志賀町、徳島県との連携
11月1日（月）	大牟田市内	ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使及びご家族による本市ご来訪	大牟田市役所、旧三井港倶楽部、天領小学校、大牟田市動物園、ともだちや絵本美術館
【中止】 11月～12月	大牟田市内	事前合宿受入れ（柔道グランドスラム東京 2021） キャンプ期間中又は大会後の交流事業（歓迎レセプションほか）	
【中止】 12月3日（金） ～5日（日）	東京都、 大牟田市内	柔道グランドスラム東京 2021 大会応援（現地応援、パブリックビューイング等）	
【中止】 R4年3月25日（金）	大牟田市内	オンライン応援イベント 柔道グランドスラム大会（トビリシ） ジョージアの歴史、文化、食などの紹介	

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

近藤 良介	弓道の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
坂口 憲義	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
甲斐 美代子	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
吉田 浩史	バスケットの普及、発展並びに競技力の向上に寄与

②記録賞

ア 優秀賞

古賀 文也	令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	男子 5000m 競歩 1 位
竹市 裕亮	全国高校総合体育大会 柔道競技大会 令和3年度国民体育大会 第41回九州ブロック大会	男子個人 73kg 級 準優勝 柔道少年男子 優勝

山下 風雅	第 50 回ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2021	男子ダブルス 3 位 (山下・五十嵐ペア)
五十嵐 涼介	第 50 回ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2021	男子ダブルス 3 位 (山下・五十嵐ペア)
熊谷 諒也	令和 3 年度国民体育大会 第 41 回九州ブロック大会	柔道少年男子 優勝

イ 奨励賞

大牟田高等学校 陸上競技部・駅伝部	令和 2 年度全九州高等学校体育大会 第 38 回全九州高等学校新人陸上競技大会 令和 3 年度全九州高等学校体育大会 秩父宮賜杯第 74 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選会	男子総合 1 位 男子総合 1 位
大牟田高等学校 ソフトテニス部	第 46 回全日本高等学校選抜ソフトテニス競技大会九州地区予選会	男子団体 優勝
壱岐 ひなた	令和 3 年度九州中学校体育大会 第 49 回九州中学校水泳競技大会	自由形 100m 1 位
松尾 真晃	令和 3 年度九州中学校体育大会 第 43 回九州中学校陸上競技大会	1 年女子 800m 1 位

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、市民体育館など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

（１）各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R 元年度	R2 年度	R3 年度
利用団体	245	198	196
利用件数	11,407	9,421	7,269
利用人数(人)	178,218	135,955	101,741

○（仮称）総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

現在の市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を取りまとめました。Ｒ３年度は実施設計・施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめています。

この実施設計に基づき着工し、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ５年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期 日	場 所	研修内容	参加者(人)
R4 年 3 月 23 日(水)	市民体育館研修室A、アリーナ	「ジュニア期に行っておきたい体の使い方」	21

③ スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通した健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R4 年 2 月 22 日（火）	市民体育館研修室 A	「コロナと運動効果」	中止

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値(%)	50.0	50.0	50.0	R5年度の目標値は、新スポーツ推進計画の中で設定	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定。 [現状値：41.6% (H30年度実績)]
	実績値(%)	38.5	40.2			
	達成度(%)	77.0	80.4			

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナ禍の中でも、感染防止策を十分に講じた上で各種行事を開催するなど、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、40.2%と、前年度と比較して1.7ポイント増となりましたが、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することはできませんでした。
- ・目標値を達成できなかった要因として、コロナ禍における外出等の自粛や、緊急事態宣言の発出等により施設利用や対外試合等が制限された時期があったことなどが影響し、運動・スポーツの機会が減少したことが考えられます。
- ・コロナ禍にあっても、市民が安全・安心にスポーツや運動に取り組むことができるよう、引き続き、感染防止対策を進めていく必要があります。
- ・あわせて、成果指標の達成に向けて、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要と考えます。

【今後の方向性】

- ・スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民の方がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、引き続き、ジョージアとアフガニスタンとの交流事業等を行うことで、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化を図ります。
- ・延命公園周辺地区都市再生整備計画に基づき、「(仮称)総合体育館等実施設計及び新築工事」を推進します。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

イ 今後の史跡整備に向けて基本的な考え方をまとめた、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画（H29年度策定）」に基づき、宮原坑の園路・看板整備を行いました（文化庁補助事業）。

ウ R2年7月豪雨により被災した専用鉄道敷跡の災害復旧工事を完了し、防災対策工事を行いました（文化庁補助事業）。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～4年度）に着手し、R3年度は工事入札を行いました（文化庁補助事業）。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

（単位：千円）

R2年度決算に伴う 基金高 ①	R3年度中の増減額		R3年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
35,897	1	0	35,898

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 899人

③環境美化活動の実施

- ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽
 駛馬校区まちづくり協議会
- イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等
 NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④小学校との協働

世界遺産学習に取り組む駛馬小学校の子どもたちから世界遺産登録6周年にあたり、お祝いのメッセージを書いたフラッグ「お祝い旗」の寄贈を受け、宮原坑第二堅坑櫓に掲揚しました。

7月8日寄贈、7月31日まで掲揚

(2) 世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、「炭鉱（やま）のこまか祭典」を実施しました（新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し実施、日本博補助事業）。

と き 11月3日（水・祝）10時～16時

ところ 三川坑跡、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署等

内 容 「明治日本の産業革命遺産」や市内の近代化遺産を巡る写真展、動画公開、わくわくフォトラリー、国登録文化財「古賀家住宅」特別公開、市指定文化財「三井港倶楽部」公開

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑、三池港展望所は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全施設を4月29日～6月20日、8月14日～9月26日、1月22日～3月6日はガイドなし施設公開のみとし、大雨により8月12～15日、17～19日（9～13時）、9月17日は台風接近のため全施設を閉鎖しました。

見学者数 11,630人（宮原坑）、9,979人（三池港展望所）

1,384人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録6周年事業の実施

ア 小学校・中学校、記念給食の企画

学務課の協力により、全市立学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（小学校と特別支援学校：石炭ビーンズ、中学校：鶏肉のごま味噌絡め）を実施しました。R3年度は三池エリアの構成自治体である大牟田市、荒尾市、宇城市の3市合同で初開催しました。

7月8日前後に実施

イ 啓発動画の制作

三池炭鉱・三池港をPRするオンラインツアー映像を制作し、宮原坑に仮設プレハブを設置して公開しました（日本博補助事業）。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を初めて実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駛馬小学校6年生が参加）。

6月10日、24日、30日に講座、11月18日に発表会

⑤パンフレットの作成

世界遺産三池炭鉱・三池港について解説した子ども用のパンフレットを改訂し、3千部増刷しました。

⑥出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 13件 視察対応 1件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

ウ 市指定史跡「歴代三池藩主墓地」において防災対策及び見学者の安全性向上を図るため、敷地内の排水設備再整備、倒壊もしくは倒れかかっていた灯籠等の復旧（積み直しと礎石基礎の地盤強化）を行いました。

エ 県指定天然記念物「土穴のエノキ」の枯枝等の除去剪定及び腐朽防止、樹冠のバランスをとるための剪定を行いました（R2～3年度県補助事業）。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査（国・県補助事業）

ア 試掘・確認調査

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが739件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは9件でした。本調査に至ったものはありませんでした。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」測量調査

史跡指定地内外において古墳（石室内）及び周辺の測量調査を行いました。

②文化財防火デー

ア 県指定文化財「石造六地藏」が所在する法雲寺において、文化財防ぎょ訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止しました。

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して近代化遺産一斉公開を開催し、所有者の協力を得て国登録文化財「古賀家住宅主屋」を初公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」

(162～165ページ)を参照)

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定天然記念物「米ノ山断層及び石炭層の露頭」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 4件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 3件

③史跡めぐりウォークの実施

三池カルタ・歴史資料館と共催で三川地区の史跡めぐりウォークを実施しました。

と き R4年3月13日(日)

参加者数 10人

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

①大牟田押し花アートフェスタ

押し花を台紙に貼るだけではなく、日頃の感謝のメッセージを添えるなどの「まごころはがき」をつくるワークショップを開催しました。押し花まごころはがきコンテストには、押し花ワークショップ等で製作された作品が多数応募されました。

また、大牟田押し花アートフェスタ展覧会では、コンテスト応募作品や押し花作家の杉野宣雄さん並びに地元の押し花アーティストたちの作品が展示されました。

押し花ワークショップ（押し花まごころはがきコンテスト応募）

と き	時 間	場 所	参加者数
7 月 22 日（木・祝）	10 時～15 時 （12 時～13 時休憩）	ゆめタウン大牟田 2 階わくわく広場	162 人
7 月 26 日（月）	①10 時～ ②11 時～ ①②とも 1 時間程度	三池地区公民館	19 人
7 月 29 日（木）		三川地区公民館	29 人
7 月 30 日（金）		勝立地区公民館	12 人
8 月 3 日（火）		中央地区公民館	11 人
8 月 4 日（水）		吉野地区公民館	9 人
8 月 5 日（木）		駛馬地区公民館	19 人
8 月 10 日（火）※		手鎌地区公民館	

※緊急事態宣言発令に伴い中止

計 261 人

大牟田押し花アートフェスタ展覧会（押し花作家作品展・押し花まごころはがきコンテスト応募作品展）

と き	場 所	入場者数
9 月 3 日（金）～9 月 5 日（日） 10 時～17 時 （最終日のみ 15 時まで）	ゆめタウン大牟田 2 階わくわく広場 ※コンテスト表彰式は中止	432 人
9 月 2 日（木）～9 月 5 日（日） 12 時～17 時	ROOTH2-3-3	
9 月 2 日（木）～9 月 5 日（日）	ホテルニューガイアオームタガーデン 1 階ロビー	

※後日、押し花アートフェスタ展覧会それぞれの会場の様子を動画配信しました。

②カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ館を有していることから、カルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

（内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（162～

165ページ)を参照)。

(2) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 15件(計画事業数は19件)

入場者数 7,310人

事業名	主管団体名	と き	と ころ
東バレエスタジオ 30 周年記念 第 13 回発表会	大牟田バレエ協会	4 月 4 日(日)	文化会館大ホール
第 29 回ありあけ山野草と小品盆栽展	ありあけ山野草会	4 月 15 日(木) ～4 月 17 日(土)	文化会館展示室
第 68 回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4 月 19 日(月) ～4 月 25 日(日)	文化会館展示室他
第 15 回スプラウトダンス発表会	大牟田ストリートダンス協会	8 月 29 日(日)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と文化講座	三池史談会	10 月 9 日(土) 10 月 16 日(土)	文化会館研修室
クラシックギターのつどい	大牟田クラシックギター愛好会	10 月 16 日(土)	文化会館大ホール
日本舞踊幸若流 第 11 回チャリティ発表会	大牟田民舞協会	10 月 24 日(日)	文化会館大ホール
70 周年記念大牟田美術展	大牟田美術協会	前期:10 月 26 日(火) ～10 月 31 日(日) 後期:11 月 4 日(木) ～11 月 10 日(水)	文化会館展示室他
創作太鼓と郷土芸能の祭典	おおむた和太鼓愛好会	10 月 31 日(日)	文化会館大ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	11 月 3 日(水・祝)	文化会館小ホール
大牟田みやび舞踊の会 設立 15 周年記念公演	大牟田みやび舞踊の会	11 月 7 日(日)	文化会館大ホール
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	11 月 14 日(日)	文化会館小ホール
第 64 回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	11 月 23 日(火・祝)	文化会館小ホール
歌謡フェスティバル	有明歌謡連盟	12 月 9 日(木)	文化会館大ホール
俳句大会	大牟田俳句連合会	12 月 10 日(金)	文化会館研修室
童謡を一緒に	大牟田童謡会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田押花フェスタ 2021	大牟田押花の会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田市民音楽フェスティバル 2021 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

○文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 10件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月7日（月）
中友小学校	文学（おはなし会）	おはなしの森	6月15日（火） 6月17日（木） 6月18日（金）
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月21日（月）
駛馬小学校	押し花	花みずき会	9月27日（月）
銀水小学校	音楽（フルス）	大牟田フルス協会	10月20日（水）
駛馬小学校	押し花	花みずき会	11月5日（金）
明治小学校	文学（おはなし会）	おはなしの森	11月11日（木） 11月12日（金）
中友小学校	文学（おはなし会）	おはなしの森	11月18日（木） 11月19日（金） 11月25日（木）
上内小学校	音楽（フルス）	大牟田フルス協会	11月22日（月）
駛馬小学校	音楽（古典）	大牟田三曲協会	12月3日（金）

（２）子どもの文化芸術体験支援事業

①大牟田市子どもアートスクールツアー

子どもたちが劇場や美術館等に行って、文化芸術に直接ふれる体験ツアーを実施しました。Ｒ３年度は、ミュージカル（劇団四季の「CATS」）を観劇しました。

と き Ｒ４年３月２５日（金）

と こ ろ キャナルシティ劇場

参 加 者 市内在住の小学４～６年生４０人

（３）若者の関心に合わせた文化芸術事業

①ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

高校生が小中学生にダンスを教えるダンスワークショップや市内高校ダンス部のステージ発表のほか、小学生から高校生を対象に市内外から参加者を募ったダンス大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためＲ４年度に再延期しました。

【視点３）文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 ４１件

（２）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの１事業として実施しました。

公募事業 大牟田みやび舞踊の会設立１５周年記念公演

と き １１月７日（日）

と ころ 文化会館大ホール

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

（１）羽山台小学校演劇ワークショップ・講演会

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

（１）有明圏域定住自立圏文化振興会議

圏域４市２町による文化振興会議を開催し、効果的な文化芸術情報の発信や令和４年度実施予定の共同文化事業について協議しました。

と き Ｒ４年１月１２日（水）

と ころ 文化会館 憩いの mori

（２）広域連携の取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、従前より実施している「有明美術展」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。また、圏域内の自治体４市２町で圏域内の文化事業に関する情報の効果的な発信として各自治体に定住コーナーを設けています。

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）、カルタックスおおむたはＨ３年（１９９１年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

・文化会館 小ホール音響設備更新工事、小ホール搬入口シャッター更新、大ホール幕地機器更新など

・カルタックス 駐車場改修工事、図書館児童書エリア外フロアカーペット張替など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値:57.9%(H30年度実績)]
	実績値(%)	44.5	38.2			
	達成度(%)	55.6	47.8			

【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化事業の開催等を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、愛情ねっと等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布しました。また、本市の特色を活かした文化芸術事業として、押し花を活用したワークショップや展覧会を実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。
- ・大牟田市民文化のつどい事業は年間で19事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により4事業が中止となりました。また、文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業(著名な劇作家による市民を対象としたワークショップ等)についても中止となりました。このように、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種イベント等が中止・延期となり、文化芸術活動への参加の機会が減少したことが、指標の実績値に影響した可能性があります。
- ・新しい生活様式を踏まえたイベントの実施が増加し、R2年度に比べ文化芸術に触れる機会は、戻りつつありますが、複数回にわたる新型コロナウイルス感染拡大なども指標の実績値に影響した可能性があります。
- ・郷土の歴史への興味関心を高め、郷土を愛する気持ちと誇りを育む事業として、毎年行っているバス見学会や文化財に関する講座について、感染拡大防止にも配慮しながら継続して実施したほか、近代化遺産一斉公開のコンパクトな形での実施や、宮原坑敷地内への展示施設の設置を行いました。

【今後の方向性】

- ・R元年度に策定した大牟田市文化芸術振興プランに基づき、文化芸術を通して人々が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かなまちを実現するため、さまざまな施策に取り組みます。特に本計画期間にあっては次世代を担う人づくりに力を入れており、文化芸術を通して子どもや若者の豊かな感性を育み、心豊かでたくましい青少年の育成を図る施策を推進します。
- ・文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、十分な感染防止策を講じた上で、多くの市民に安心して文化芸術に触れてもらえるよう取り組みます。
- ・世界遺産をはじめとする近代化遺産や文化財の保存・活用により、まちの歴史や文化について、多くの市民が理解を深め、まちへの愛着と誇りにつなげていくことと併せ、世界遺産の価値を広く内外に周知し、その魅力に触れてもらえるよう取り組みます。